

生活

高齢者の運転免許証返納に関する支援策は

コミバスの充実を検討

問

須恵町の高齢化率(65歳以上人口)は、昨年の10月時点で約24・3%となり、今後も進む方向にあります。

高齢者のブレーキとアクセルの踏み違い等による運転事故は昨今テレビや新聞で報道されています。

須恵町では、まだ大きな事故には至ってはいませんが、高齢者が安心して免許証を返

納できるような支援策を実施していただきたい。

例えば、コミュニティバスの経路や時間帯、運行頻度などを見直し、病院や買い物、役場へ行くのに都合の良いものにする、タクシートの割引券を配布するなどです。

答 満行総務課長

返納後の具体的な支援策として、他市町村では、コミュニティバスの

利用があげられています。本町でもコミュニティバスを本格運行しており、65歳以上の方は無料となっています。

広域的な連携も模索し、管轄の粕屋警察署とも協議を行い、今後の対

策を検討していきたいと考えています。

答 中嶋町長

高齢者による交通事故は、社会問題にまで発展しています。その抑制策として、運転免許証の返納は有効な手段ですが、本人の自覚を促すこと

と、見返りの部分が大切だと思います。

現在、コミュニティバスはマイクロバス2台で運行していますが、細部にわたって動くのは難しいため、時刻表なしに、必要なときに呼んで利用できるバスなど、小型化を検討しています。



答弁中の中嶋町長



白水 勝元 議員

返納後の具体的な支援策として、他市町村では、コミュニティバスの利用があげられています。本町でもコミュニティバスを本格運行しており、65歳以上の方は無料となっています。



イラスト：警視庁ホームページより



運転経歴証明書

運転免許を受けていたことを証明するもので、運転免許証の自主返納を行った日から5年間、交付申請することができる。
←福岡県警察ホームページ

どげんなっとうと？

一／般／質／問

地方創生

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と今後の展望は 施設建設で加速化

問

現在、日本の人口は、1億2700万人、西暦2100年には、半分以上の5200万人になると予想されます。そのため、国は日本全国の自治体に、先を展望する「人口ビジョン」作成を義務づけました。

これを受け、須恵町においては、平成27年度から平成31年度の5年間で計画期間と

して、「須恵町人口ビジョン」を踏まえ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。「産官学金労言」体制で作った総合戦略計画策定から間もなく1年が経過しますが、どこまで進みましたか。今後の展望を含めお尋ねします。

答 中嶋町長

須恵町の総合戦略を加速化させるために、須恵中央駅前、オープンイノベーションセンター(仮称)を建設中です。町内外で事業を営む方々を繋ぎ、新しい事業を生み出し、稼ぐ力を培うハブ機能を持った施設として運営することを目的とし

ています。

加速化交付金2千万円で躯体部分の工事を行い、平成29年度から5年間で5千万円の債務負担行為を起こし、維持管理費として年間約88万円を計上しています。

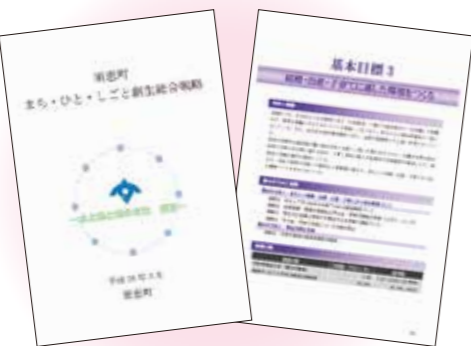
また、収益については、喫茶部分の家賃収入とイノベーション事業成立時の諸収入等を考えています。

総合戦略計画に掲げる基本目標中の「雇用創出、結婚・出産・子育てに適した環境づくり」の進捗状況は、次のとおりです。

雇用創出については、町内企業の方々から、大学に求人募集をしても、来ていただけの人数が少ないといった現実的な問題も聞き及んでいます。町として情報提供不足を痛感しており、今後、PR事業の中で取り組んでいきたい



松山 力弥 議員



平成 28 年 3 月に策定された須恵町総合戦略